

議案第2号

令和7年度 事業計画（案）について

自 令和7年4月1日～至 令和8年3月31日

1. 事業の方針

人口減少・少子高齢化が進む中、交流人口・関係人口の拡大へつながる観光は、今後とも国の成長戦略の柱であり、旅のもたらす感動や満足感は人々の活力を生み出し、ワーク・ライフ・バランスの充実にも繋がるものとなります。

新型コロナウイルス感染症や気候変動、能登半島地震などの災害が発生している中でも観光の意義は変わることなく、むしろその重要性は増しているところであります、地域住民の幸福や生活の質の向上を実現していく上でも持続可能な観光が求められています。

令和7年度においては継続して、七尾市・中能登町に観光客等が安心して訪れていただけるよう能登半島地震からの復旧・復興に努め、旅行者・地域住民の双方の好循環を実現する「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくりを行い、地域の多様な関係者と連携し、地域に息づく暮らし、自然、歴史、文化等に係る魅力向上を図りながら、「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」をキーワードに地域の活性化及びふるさとへの愛着を醸成する取り組みを進めていくことを方針とする。

2. 具体的な取り組み

(1) 一般社団法人ななお・なかのとDMOの組織運営

七尾市・中能登町の「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、観光地の一体的なブランドづくりなどの観光振興を戦略的に担う組織の運営を行う。

①DMO組織運営費

内容：組織運営にかかる人件費、通信運搬費、事務費など

②第2次ななお・なかのと観光振興プランの策定

内容：新型コロナの沈静化及び能登半島地震からの復興等の環境の変化に対応し、日本版DMO形成確立計画のKPI（来訪者満足度、リピーター率など）を設定しつつ、継続的なデータ収集・分析・整理を行いながら、観光誘客や受入環境の整備等を含む「ななお・なかのと観光振興プラン」を見直し、戦略的及び持続可能な観光の振興を図る。

※能登半島地震からの復興に向けた観光再生支援事業を活用

③地域周遊・長期滞在促進のための専門家派遣事業（観光庁）

内容：旅行者の地域周遊・長期滞在を促進することを目的に、地域に専門家を派遣し、課題解決に向けた戦略の策定、好循環を創出する施策の展開等の助言を実施。

対象事業：観光戦略の策定、DMO等の財源確保、観光施設の運営、滞在コンテンツの造成等

④DMO事業報告

内容：地域・関係団体の方々に対して、DMOの事業活動への理解を深めていただく場として事業報告会を開催。

※観光地域づくり法人においては、地域住民・関係自治体を含めた関係者に対する説明責任を果たすため、事業内容・成果・KPIの達成状況や観光地域づくりの取り組みを記載した資料を作成し、書面により関係者に説明・共有することが必要。

（観光地域づくり法人の登録制度に関するガイドラインより抜粋）

⑤観光地域づくり法人（DMO）の体制強化（観光庁）

内容：インバウンドに対応した観光地域づくり法人の形成を促進し、魅力ある観光地域づくりを促進することを目的としている。

補助額：定額補助

※外部専門人材の登用 1人あたり 1, 500万円を上限とする。

1. 外部専門人材の登用

【補助率】定額 上限 1, 500 万円

専門的知見や外国人目線を有する外部専門人材の登用に係る費用を支援

- ・インバウンドに関するデータの分析とそれに基づく誘客／観光消費戦略の策定
- ・外国人旅行者に選好される魅力的なコンテンツの開発・強化
- ・外国人旅行者が快適かつ安全に周遊・滞在できる受入環境の整備
- ・国外向けの戦略的な情報発信・プロモーション

（2）着地型観光商品の見直し

これまで商品開発してきた着地型観光商品については、観光需要に対して満足な形で提供できているとはいえない。

旅行ニーズの多様化に対応した観光商品の整理及び磨き上げを行い、復興と合わせながら旅行商品化の促進を図る。

（3）デジタル技術の導入

① 観光商品電子チケット導入

観光商品（能登前寿しクーポン等）の電子チケット化による管理業務の低減および利用者・受け入れ事業者の利便性の向上を図る。現況では、月初めのチケット回収や集計などの負担が大きく、スキームの簡略化を進めることで、これらのコストの低減を図る。

- ・来訪前の検討段階での購入が可能。⇒来訪動機を高める方向性が期待できる。
- ・商品内容、価格の修正などが容易となる。
- ・店舗側に機器の導入負担が無く、商品用QRコードを用意するのみ。

※令和6年度中の導入を検討していたが、令和7年6月を目途にリニューアルする寿しチケットをあわせて展開予定。（現在の参加予定店舗は5店舗）

[参加予定寿し店舗]

松乃鮓、のぶ寿し、千代ずし、大将寿し、繁寿し

(4) 旅行ニーズの多様化に対応したきめ細やかな情報発信

① 首都圏・関西圏・中京圏等の観光客や外国人観光客の誘客活動

内容：観光素材及び着地型観光商品を旅行会社の商品造成担当者に提案し、旅行商品化に繋げていくために、プロモーション活動等を展開していく。

プレスリリース配信サービス等を積極的に活用することで、地域外への露出向上を図り、認知度を高めていく。

[出向宣伝]

月 日	イベント名等	場 所	内 容
06月 28日(土) ～29日(日)	MRO旅フェスタ 2025	石川県産業展示館 2号館	石川から行ける旅をテーマに旅の楽しさを体感するイベント
09月 14日(日) ～15日(月)	第 32 回全国山城サミット イン白山	白山市	七尾城跡、石動山の観光PRを実施
09月 25日(木) ～28日(日)	ツーリズム EXPO ジャパン 2025	Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場)	石川県ブースに市町参加枠で出展 〔日本観光振興協会〕 〔日本旅行業協会(JATA)〕
10月 18日(土) ～19日(日)	ご当地キャラ博 2025	彦根市中心街 (夢京橋キャッスルロード・四番町スクエア 京橋)	市マスコットキャラクター「とうはくん」として参加。 七尾市の観光PRを実施
12月 10日(水) ～16日(火)	富山・石川・福井情報発信 拠点「HOKURIKU+」イベント スペース	KITTE 大阪	県文化観光スポーツ部観光戦略課 観光PRを志賀町と共同開催。 現地は13日(土)・14日(日)のみ参加

[観光プロモーション及び商談会]

月 日	イベント名	場 所	内 容
04月 16日(水)	いしかわ旅行商品プロモーション会議	ANAクラウンプラザホテル金沢 3階「鳳の間」	和倉温泉観光協会とともに参加し、次年度の秋冬商品として、和倉温泉お祭り会館、震災復興街歩きツアー、能登前かに・ふぐ紅白寿し合戦などを提案 〔石川県観光連盟〕
	いしかわ旅行商品プロモーション会議エクスカーション	一本杉通り	震災復興街歩きツアーとして、一本杉通り「高澤ろうそく店」「漆陶舗あらき」を旅行会社担当者とともに訪問
07月 09日(水) 予定	石川県プレスマーティング	TKPガーデンシティ 大阪梅田	在大阪メディアに向けて、七尾市・中能登町・能登の情報を提供予定 和倉温泉お祭り会館の再開もPR 〔県文化観光スポーツ部観光戦略課〕
07月下旬 予定	北陸観光PR会議	TKPガーデンシティ PREMIUM 京橋	在京メディアに向けて、七尾市・中能登町・能登の情報を提供予定 和倉温泉お祭り会館の再開もPR 〔県文化観光スポーツ部観光戦略課〕

月 日	イベント名等	場 所	内 容
09月 予定	東京北陸地区観光商談会	ホテルメトロポリタン池袋	在京旅行会社に対し、七尾市・中能登町のPRを予定
09月 予定	北陸観光PR会議	TKP ガーデンシティ PREMIUM 京橋	在京メディアに向けて、七尾市・中能登町・能登の情報を提供予定 和倉温泉お祭り会館の再開もPR 〔県文化観光スポーツ部観光戦略課〕
10月 予定	いしかわ旅行商品プロモーション会議	ホテル日航金沢	和倉温泉観光協会とともに参加し、次年度の春夏商品を提案予定
02月 予定	関西圏北陸地区観光商談会	ホテルモントレ大阪	関西圏旅行会社に対し、七尾市・中能登町のPRを予定

[各種メディア掲載]

月 日	掲載誌等	媒体	内 容
04月	能登日和	Web	〔申込締切 4/30(水)、開催 5/4(日)〕 参加者募集！能登を愛してやまない案内人と巡る、青柏祭特別体験バスツアーを開催

②観光客のニーズや嗜好に応じた魅力の発信

内容：七尾・中能登エリアにおいて、観光客のニーズや嗜好に応じた、きめ細やかな多様な観光情報を提供していく。

③SNSなどを効果的な媒体を活用した情報発信

内容：SNSやブレスリリースサービスなどを活用した情報発信に取り組む。
メディア活用により地域外への露出を向上し、地域としての認知を高めていく。

④デジタルマップでの情報発信

内容：七尾市・中能登町の観光情報をデジタルマップで提供する。

能登地域では珠洲市、輪島市、能登町が導入済みで、石川県観光連盟も観光DX推進事業として実証を進めていることから、訪問者に適切な情報提供を行う。

具体的な取組み：

- ・七尾市、中能登町の広範な観光情報の露出
(DMO会員、市町公式サイト掲載スポット、指定避難所、祭礼等の実施場所)
- ・随時更新による観光情報の鮮度の向上
- ・多言語対応による印刷物の版数の削減
- ・県の広域デジタルマップとの連携
- ・導入を予定している電子チケットへのリンクを埋め込み購入導線の一つとする
- ・既存のDMO公式サイトへの埋め込み

(5) 震災学習プログラムの開発、受け入れ

① のと里山空港を活用した「震災を学ぶ旅」

- ・全国で台風や地震などの自然災害が頻発し、防災への意識が高まっている。
- ・能登半島地震では、のと里山空港が復旧・復興の拠点として重要な役割を担う。
⇒のと里山空港を活用した「震災を学ぶ旅」を提案し、災害からの教訓や、復興の過程を全国に発信することで、企業・団体の視察・研修旅行などの呼び込みを図る。

[震災を学ぶ旅の内容]

- ・のと里山空港（地震発生時対応の説明、施設見学）
- ・のと鉄道（震災語り部列車）
- ・今行ける能登の各施設の説明を通して、被災地の現状、復興の過程を発信。
施設例：青の洞窟、すずなり食堂、見附島、輪島朝市、総持寺、黒島漁港の隆起海岸、能登ワイン、柳田植物公園、和倉温泉お祭り会館、気多大社、妙成寺など

② 震災学習（教育旅行向け）プログラム

内容：能登の観光復活に向け、県・県観光連盟・七尾市以北6市町と連携した「震災学習プログラム」を造成。（パンフレット制作）

「自然の驚異」「防災・減災」「復興の取り組み」をテーマに26のプログラムを用意。

三大都市圏の中学校や高校、旅行会社へプロモーション活動を行い、令和9年度以降の修学旅行誘致に活用していく。

プログラムは修学旅行のほか、学校や企業の研修・視察、旅行会社の復興ツアーへも活用していくものとなり、DMOとして次のプログラムを開発している。

■祭りの再考から考える、防災と地域コミュニティの維持

内容：能登の人々にとって欠かせない「祭り」。地震により多くの祭りが中止に追い込まれる中、祭りを開催した地域もありました。祭りの再建へのジレンマやそれにまつわるエピソードを紹介しながら、防災と災害後のコミュニティの維持について考える学習を施す。

場所：和倉温泉お祭り会館

■被災商店街で語り継ぐ能登半島地震の記憶

内容：歴史ある街並み特徴の「一本杉通りの商店街」で実際に被災した事業者から発災時の行動やライフラインが復旧するまでの苦労や生活の工夫、コミュニティの維持などについて紹介とともに、実際に商店街を巡りながら再生がどのように進められているかを学ぶ。

場所：一本杉通り、寄合い処みそぎ

[現時点の催行・予約状況]

月 日	プログラム	団体名	人数	旅行会社
05月 29日	一本杉通り	倉庫業青年経営者協議会	18	ANA X 株式会社
06月 05日	和倉温泉お祭り会館	玉造中学校3年生 (教育旅行) (千葉県成田市)	約70	千葉スカイツーリスト
07月 08日	一本杉通り	不明	約30	(株)マップ&旅企画
07月 10日	和倉温泉お祭り会館	群馬県環境保全協会	約30	T-LIFE パートナーズ株式会社
08月 01日	和倉温泉お祭り会館	公立中学校教職員 R7 北陸修学旅行現地研修会	約30	石川県観光戦略課

※現時点では被災地視察としての利用が主となっている。

(6) 観光案内所の運営

目的：J R 七尾駅・和倉温泉駅での観光案内やレンタサイクル及び手荷物預かりなどの各種サービスを実施し、観光客等への利便性及びおもてなしの向上を図る。

事業内容：J R 七尾駅・和倉温泉駅での一体的な管理運営及び観光案内。

収益事業：レンタサイクルや手荷物預かりなど観光客への利便性を図る。

※七尾駅観光案内所のみ、準備が整い次第、レンタサイクル開始。

和倉温泉駅観光案内所のレンタサイクル未定。

(能登島地内の道路は起伏などがあり、危険を生じる可能性があるため)

その他：令和6年能登半島地震の影響により、J R 七尾駅・和倉温泉駅両駅での観光案内所は1月より休所となっていたが、令和6年10月1日より観光案内所を再開している。

3. DMO活動事業

(1) 能登半島地震からの復興に向けた観光再生支援事業（観光庁）

目的：能登半島地震で被害を受けた観光地全体の復興のためには、施設の復旧・事業継続等の措置に加え、観光施設・宿泊施設等が一体となった観光地の復旧・復興計画等の策定・地域の魅力向上のための取組が必要。能登半島地震からの復旧に当たって、自治体、関係団体や個別事業者が一体となった復旧・復興計画の作成、復旧後の誘客促進を図るためのコンテンツ造成等を支援する。

事業期間：選定後より令和8年3月10日

事業費：11,688,000円（補助率10/10）

連携先：七尾市、中能登町、中能登町観光協会、(一社)中能登スローツーリズム協議会、宿泊施設(喜屋・えにし屋・結舎・遊心庵)、農家レストランなど

項目	事業内容	取り組む内容
① マーケティング実施、復旧・復興計画策定	データに基づき、旅行者に対し訴求力のある取組を実施するための調査や復旧・復興方針等を定めた計画策定を支援。	<p>■観光振興プランの策定</p> <p>復旧・復興を見据えての地域経済の活性化の再生、発展に向けて地域観光復興への観光政策の方針や方向性を示した第2次ななお・なかのと観光振興プランを策定</p> <ul style="list-style-type: none"> [策定委員会] 年3回程度 [ワークショップ] 年5回程度 <ul style="list-style-type: none"> ・WS① 地域基礎データ報告 ・WS② 地域のありたい姿に関する議論と明文化 ゲストスピーカー 下呂温泉観光協会 滝会長 ・WS③ 資源や課題に基づき、ありたい地域像のための施策アイデア出し ・WS④ KGI/KPI 設定を考える ・WS⑤ 観光ビジョンを考える 財源確保に向けた勉強会（宿泊税） ゲストスピーカー 倉知安観光協会 鈴木事務局長
② 誘客コンテンツの造成	復旧後に誘客を促進するための地域独自の観光資源を活用したコンテンツの造成を支援。	<p>■デジタルノマドの誘致</p> <p>第2次観光振興プラン策定の中では「インバウンドの地方誘客」は継続した重要な施策となるため、震災からの復興を見据えたプラン策定業務と並行し、課題であるインバウンドの地方誘客策として、デジタルノマドの誘致を実証の意味合いも含めた別の視点から取り組んでいく。</p>
③ 情報発信、プロモーション	WEB・SNS等を活用したエリア内のコンテンツの魅力等に関する効果的な情報発信を支援。	<p>■デジタルノマドの誘致</p> <p>デジタルノマドの認知度を高め、誘客を促進していくための情報発信。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外向けの情報発信 (SNSの運用、PRTimesへの発信) ・「Nomad List」などノマド向けサイトへの掲載など

(2) いしかわ文化観光コンテンツ造成支援事業（公益社団法人石川県観光連盟）

概要：日本遺産認定の「能登のキリコ祭り」から「能登島向田の火祭」「石崎奉燈祭」を題材として取り上げ、祭に関する史実調査と情報を整理し、祭りの準備工程・作業をコンテンツ化し、地域とのつながりを形成する体験ツアーの造成などを実施する。

事業名称：日本遺産 能登のキリコ祭り 皆で想いを繋ぐ

真夏の祭事体験・体験コンテンツ開発事業(向田の火祭・石崎奉燈祭)

事業期間：交付決定日から令和8年3月31日(2年目)

連携先：七尾市・能登島向田町町会、石崎奉燈祭奉賛会

事業内容：令和7年度事業

■プレトライアルツアー

史実調査などをもとに、能登の里山里海の文化・自然を感じながら祭りの実施に必要となる準備工程・作業を洗い出し体験メニューのコンテンツ構築を実施していくためのプレトライアルツアーを実施。

■デジタル紙芝居[令和7～8年度]

祭りの歴史、成り立ちなどの情報を紙芝居に表現し、ツアーフォローアップの事前学習ができるデジタル紙芝居を製作

■石崎奉燈祭では幻想的に浮かび上がる大書や武者絵を芸術品としてとらえ、Web上で石崎奉燈祭の特徴を紹介

■関連グッズ制作 [令和7～8年度]

祭りのイメージから派生する祭りグッズの商品開発。(企画立案)

事業費：5,005,000円(県観光連盟補助金2/3 3,337,000円)

[誘客効果]

項目	目標値
①「向田の火祭」「石崎奉燈祭」の認知向上と「皆で想いを繋ぐ祭り体験ツアーフォローアップ(仮称)」	参加者延べ60名 (令和9年度以降/年)
②デジタル体験などのコンテンツ利用者 (デジタル紙芝居・Web)	15,000名/年

4. 各観光協会への支援

(1) 和倉温泉観光誘客支援事業 [事業主体：和倉温泉観光協会]

内容：和倉温泉の魅力向上及び和倉温泉を拠点とした観光誘客の促進を図る。

(2) 能登島観光協会運営事業 [事業主体：能登島観光協会]

内容：能登島の観光振興と誘客促進事業を展開し、交流人口の拡大を推進する。

5. その他関係機関との連携

和倉温泉観光協会、和倉温泉旅館協同組合、能登島観光協会、七尾商工会議所、能登鹿北商工会、中能登町商工会、和倉温泉創造的復興まちづくり推進協議会、和倉湯の里復興商店街、(一社)中能登スローツーリズム協議会、石川県観光連盟、いしかわスローツーリズム推進協議会、(一社)能登半島広域観光協会、七尾特産品協会、能登空港利用促進同盟会、ユネスコ5大祭連携RR部会、日本遺産「灯り舞う半島 能登～熱狂のキリコ祭り～」活性化協議会、能登七尾サステナブルツーリズム推進協議会、能登DMC合同会社、のと鉄道株式会社、ボランティアガイドはろうななお、能登國石動山を護る会、能登ふぐ事業協同組合、北鉄能登バス株式会社、株式会社丸一観光、能登島交通株式会社、(一社)きたまえJAPAN、石川県漁業協同組合等の連携による事業展開及びプロモーション活動を実施。

(1) 第2回和倉温泉復興めぐる市

内容：和倉温泉の旅館でこれまで大切に使われてきたものが、新たに必要とする方々のもとに届き、「人と人の交流が生まれ、資源や想いがめぐる和倉温泉」を目指していくイベント。

日時：令和7年5月24日(土) 午前11時～午後4時

場所：和倉温泉お祭り会館

主催：和倉温泉創造的復興まちづくり推進協議会

(2) 里海をサステナブルに管理する能登島のアオリイカを守る友の会制度の開発

内容：東京大学と提携しながら、能登島のアオリイカの保全を応援してくれるファンを増やす会員制度を構築する。藻場対策としてのアオリイカを能登島の里山里海の生き物としての象徴となる考えに賛同してくれる方々を市外から呼び込み、関係人口の増加と観光誘客に繋げていく。

事業：いしかわ里山振興ファンド事業助成金

主体：能登島観光協会

連携・支援：東京大学「福永真弓研究室〔環境倫理学〕」、(一社)ななお・なかのとDMO

(3) いしかわスローツーリズム推進協議会

「石川型スローツーリズム」の更なる魅力向上と認知度向上に向け、各種助成制度等を活用しながら、各地域及び地域間連携における滞在メニューの開発や情報発信などの取組を推進する。

① 食を通してありのままの里山里海を味わう石川のスローツーリズム

(能登半島地震からの復興に向けた観光再生支援事業)

収益力向上のためのインバウンドの高所得者層をターゲットとしたマーケティング戦略の策定など実施。

② 里山里海地域資源活用・魅力発信事業

・視察研修、情報発信・プロモーション

(4) お熊甲祭 枠旗祭大阪万博覧会出演披露実行委員会

内 容：大阪・関西万博を機会に、当該地域への訪日喚起につなげるため、万博来場訪日客を対象に能登の祭り・伝統行事、伝承文化等の「能登の心」の発信を行うことにより、継続的な訪日旅行者数の増加・旅行消費、および能登の認知拡大を図ることを目的とする。

事業名：能登半島地震からの復興に向けた七尾4大火祭りの復活と磨き上げによるインバウンド誘客促進事業

[文化庁：日本博2.0を契機とする文化資源コンテンツ創成事業]

(5) 能登観光未来会議

内 容：能登半島の各地域の現状を共有しながら、宿泊施設や観光インフラの格差を補い合えるネットワークの構築、復興の進捗に応じた観光再開の戦略、継続的に情報を共有できる仕組みについて議論します。

観光の最前線で活躍されている事業者の声を反映し、「能登観光復興計画」として具体的な施策を取りまとめ、地域全体で共に実行していく体制づくりを目指していく。

主 体：(一社)能登半島広域観光協会

構成メンバー：推薦された能登9市町の観光事業者

(オブザーバーとして市町担当課、観光協会が出席)

(6) 七尾ツーリズム協議会

内 容：観光業と関連する一次産業（農業・漁業）や飲食業を有機的に結びつける「6次産業化プラン」を策定し、復興を促進するためのマーケティング戦略を実施。

観光客誘致のためのイベント企画、地域資源を活用した新たな観光コンテンツの造成、デジタルマーケティングを活用した情報発信、宿泊施設の収益力向上支援を通じて、観光産業全体の復興を目指していく。

事 業：能登半島地震からの復興に向けた観光再生支援事業（観光庁）

主 体：(一社)きたまえ J A P A N

6. 重点事業活動

(1) 第2次ななお・なかのと観光振興プランの策定（再掲）

新型コロナの沈静化及び能登半島地震からの復興等の環境の変化に対応し、日本版DMO形成確立計画のKPI（来訪者満足度、リピーター率など）を設定しつつ、継続的なデータ収集・分析・整理を行いながら、観光誘客や受入環境の整備等を含む「ななお・なかのと観光振興プラン」を見直し、戦略的及び持続可能な観光の振興を図る。

※能登半島地震からの復興に向けた観光再生支援事業（観光庁）を活用

(2) 能登島観光協会との一元化（統合）

効果的なマーケティング及び重複するプロモーション活動を避け、効率的に観光誘客を促進していくために、能登島観光協会との一元化（統合）を進めていく。

(3) 震災学習プログラムの開発、受け入れ（再掲）

能登の観光復活に向け、県・県観光連盟・関係団体等と連携して、震災学習プログラムを造成し、修学旅行のほか、学校や企業の研修・視察、旅行会社の復興ツアーへの活用にも繋げ、語り部の育成、学校や旅行会社向けのモニターツアーなどを実施。

のと里山空港（県空港企画課）を活用した「震災を学ぶ旅」とも連携し、和倉温泉お祭り会館の入館者数の増を図る。

(4) 着地型観光商品の増強（再掲）

旅行ニーズの多様化に対応した観光商品の整理及び磨き上げを行い、復興と合わせながら旅行商品化の促進を図る。

また、受入側が疲弊せず、持続的に観光客の受入ができる素地づくりを連携する関係団体と進め、多様性へのアプローチも働きかけていく。

(5) デジタルノマドの誘致（再掲）

地域の文化や風習に興味があり、地域に深く関わる傾向が強く、暮らすように長期滞在することを好むデジタルノマドの誘致を図る。

日本を訪れてみたいと考えるノマドワーカーも増えている中、当エリアの強みである歴史×文化×自然×食×地域交流×古民家宿泊施設×農家レストラン・体験を生かした暮らしを主とした長期滞在プランを構築していく。

(6) 第17回全国どぶろく研究大会

第17回全国どぶろく研究大会の開催については、令和7年1月17日に開催を予定していましたが、能登半島地震の影響により1年延期され、令和8年1月16日（金）中能登町生涯学習センター「ラピア鹿島」にて開催される運びとなった。

DMOとしてもこれまで、どぶろくを使用した商品開発及び知名度向上、どぶろく祭りイベントへの誘客支援を行ってきたことから、研究大会開催に向けての支援及び準備を行っていく。

(7) 和倉温泉お祭り会館の再開（再掲）

和倉温泉お祭り会館運営検討会議で検討された問題及び解決策をもとに、適切な運営を及び活用方法を協議・検討し、夏頃の再開を目指す。

7. 指定管理施設の管理運営

- ・指定管理施設の管理運営など良好な施設の維持管理に努め、効率的に収益を上げられるよう各施設の利用促進を検討し、コスト削減に努めていく。
- ・能登半島地震の影響により、各施設は被害を受け、当面の間、休館することとなったため、観光客及び利用者が安心してご利用いただける日が一日でも早く訪れるように各施設の復旧に努めていく。

(1) 和倉温泉お祭り会館

和倉温泉お祭り会館運営検討会議で検討された問題及び解決策をもとに、適切な運営及び活用方法を協議・検討し、夏頃の再開を目指す。

項目	内 容	備 考
目標入館者数	3, 000人	
開館日	金・土・日・祝日の曜日限定	令和7年度のみ 団体・震災学習ツアーハはその都度、受け入れ
開館時間	午前9時～午後5時	状況に応じて柔軟に対応
入館料	一般800円、小・中400円	
指定期間	令和5年4月1日～令和8年3月31日	
施設管理	会館の維持管理及び運営 <ul style="list-style-type: none">・施設及び設備の修繕、除草作業、防火訓練(総合訓練)、階段昇降機点検、空気環境測定、冷凍庫点検、害虫駆除、展示機器保守点検等・※令和7年度において、和倉温泉お祭り会館内の復旧工事を予定している。・専用駐車場及び屋外トイレの管理・和倉湯の里復興商店街と連携したイベントの相乗効果を図る。	

(2) 湯つ足りパーク(わくたまくん広場含む)

指定期間：令和5年4月1日から令和8年3月31日)

施設管理：トイレ清掃、周辺清掃、除草作業、芝刈工、除草剤散布等

復旧工事：

①令和6年能登半島地震中小企業特定施設等災害復旧費補助金

(なりわい再建支援事業／DMO発注分)

- ・復旧箇所：カラーアスファルト遊歩道、展望台の解体及び移築の検討
- ・補助対象事業者：中小企業者(一般社団法人含む)
- ・補助率：3/4
- ・補助対象経費：

中小企業等の施設又は設備であって、令和6年能登半島地震による災害のため損壊又は継続して使用することが困難になったもののうち、施設及び設備の復旧・整備に要する経費が対象。

②湯つ足りパーク災害復旧工事（市交流推進課発注分）

- ・工事名：令和6年度 6災59号 湯つ足りパーク都市災害復旧工事
- ・工事期間：令和7年2月10日から令和7年5月9日
- ・工事内容：アスファルト舗装工、段差地割れ補修工など
- ・請負業者：(有)森組

※足湯の復旧は、令和7年度当初

(3) 潮の香広場

駐車区画：普通車93台・大型車3台

指定期間：令和5年4月1日から令和8年3月31日

施設管理：施設の修繕、周辺清掃・除草作業、除雪

(4) 和倉温泉運動公園ヨットハーバー

指定期間：令和5年4月1日から令和8年3月31日

施設管理：周辺清掃、除草作業、芝刈工、芝生施肥、トイレ内備品補充など

復旧工事：

①和倉温泉運動公園（ヨットハーバー）復旧工事（市交流推進課発注分）

- ・工事名：令和6年度 6災52号 七尾市和倉温泉運動公園（ヨットハーバー）
都市災害復旧工事
- ・工事期間：令和7年2月7日から令和7年6月13日
- ・工事内容：アスファルト舗装工、U型側溝更新・再設置など
- ・請負業者：(有)丸田建設運輸